PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

56-089036

(43) Date of publication of application: 20.07.1981

(51)Int.Cl.

G01L 5/00

// E02D 1/00

(21)Application number : 54-167082 (71)Applicant: NIPPON TELEGR & TELEPH

CORP (NTT)

(22)Date of filing:

22.12.1979

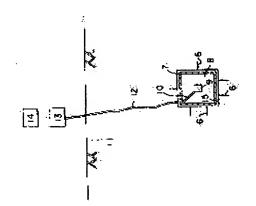
(72)Inventor: KATAGIRI TOSHIAKI

(54) DETECTOR FOR STRESS IN EARTH

(57)Abstract:

PURPOSE: To detect accurate stress by sealing a pressure converter and a liquid with constant compressibility in a casing and by absorbing a liquid, as much as the volume of the compression of the casing due to external force, with the compressibility of the liquid and the strain of the pressure converter.

CONSTITUTION: In pressure receiving casing 7 that getting strained equally by external equal force operating in every direction and made of surfaces of point symmetry, pressure converter 9 and liquid 8 with constant compressibility are sealed. As pressure 6 in the earth operates on pressure receiving casing 7 and casing 7 contracts, liquid 8 is pushed away according to the extent of the contraction and while its



volume is absorbed with the compressiblity of liquid 8 and the strain of pressure converter 9, the detection value of converter 9 is passed through amplifier 13 and displayed on display part 14. Therefore, the pressure in the earth never causes the pressure receiving surface to expand and strains in the earth in respective three orthogonal axial directions are ignored, so that the precision of the detection can be improved.

(19) 日本国特許庁 (JP)

①特許出願公開

⑫ 公 開 特 許 公 報 (A)

昭56—89036

⑤Int. Cl.³ G 01 L 5/00 // E 02 D 1/00 識別記号

庁内整理番号 7409--2F 6705--2D 砂公開 昭和56年(1981) 7月20日

発明の数 1 審査請求 未請求

(全 3 頁)

匈土中応力検出装置

②特

願 昭54-167082

@出

願 昭54(1979)12月22日

@発 明 者 片

者 片桐敏昭

茨城県那珂郡東海村大字白方字 白根162番地日本電信電話公社 茨城電気通信研究所内

⑪出 願 人 日本電信電話公社

個代 理 人 弁理士 星野恒司

外1名

明 細 1

- 1. 発明の名称 土中応力検出装置
- 2. 特許請求の範囲

3. 発明の詳細な説明

本発明は、土中における応力を検出する土中応 力検出装置に関するものである。

従来のこの種の装置は、第1図に示すように、 ゴム球1、配管2をよびロードセル3内部に液体 4 を封入し、ゴム球 1 に加えられた圧力をロードセル 3 のゲー ジ 5 におけるひずみとして取出すことにより、ゴム球 1 に作用する圧力変化を記録するように構成されていた。このため、以下のような欠点があった。

- (1) ゴム球」に作用する圧力以外に、土中にある配管 2 も圧力を受けるため、ゴム球 1 における圧力だけを原理的に検出できない。特に、土中内部の応力が高いとき、また配管 2 が長いときには、ゴム球 1 部における正確な圧力を検出できない。
- (2) 配管 2 に関して、特に土中にある配管 2 は土の移動に伴い初期の設置位置が変化するため、ゴム球 1 における圧力が同一でも配管 2 の曲りによって、初期の配管 2 内の液体体積が変化し、ロードセル 3 のゲーシ 5 に圧力が加わり、ゴム球 1 だけの正確な液体 4 の圧力を検出できない。
- (3) 上記(1), (2)に述べた配管 2 部の問題を解決する目的で、配管 2 系の剛性を上げると、ゴム球1 の動きを妨げることになり、ゴム球 1 部に新

- 1 -

特開昭56-89036(2)

たに応力が作用し、正確な応力を検出できない。

- (4) 土中における応力分布状況によっては、ゴム 球 1 が球に近い楕円体よりさらに変形して扁平 になり、受圧面積が変化するとともに受圧面に 方向性が生じ、正確な土中応力を検出できない。
- (5) 「上記(4)のようにゴム球 1 が扇平になると、その長手方向に対して土を押しのけ、その貴に相当した分だけ土から反力を受け、正確な土中応力を検出できない。
- (6) 上記(4)。 (5) の問題を取り除くためには、その 適用範囲が相当制限される。

本発明は、上記従来例の欠点を除去するために、土中応力を計測する受圧面の内部に圧力検出器を設けるとともに、受圧面の収縮を液体の圧縮性と圧力検出器のひずみで吸収するようにした土中応力検出装置を提供するものである。以下、図面により実施例を詳細に説明する。

第2図は、本発明の1実施例を示したもので、6は土中応力、7は受圧数、8は液体、9は圧力変換器、10は支持配額管、11は土、12はリー

- 3 **-**

において、圧力変換器 9 の出力信号特性を直線的に改善するため、イコライザを散けても何ら差し支えない。さらに土 11 内の小領域部分の土中応力 6 を検出し、土 11 に悪影響を与えないように、土中応力検出部はできるだけ小さくするのがよい。また支持配線管 10 において、その 剛性は液体 8 の圧縮性と圧力変換器 9 の体験圧縮率に比べて相当大きくするのがよい。

ド線、 13 は増幅器、 14 は配録要示部、 15 は体 穣圧縮率調整材である。

次に、本実施例の動作を説明する。まず、土 中応力6が受圧数7に作用して、受圧数7が収縮 すると、その収縮量に相応して受圧敷7内に對入 された一定の圧縮性を有する液体8が押しのけら れ、との体積分は液体8の圧縮性と圧力変換器9 のひずみによって吸収されると同時に、土中応力 6 が受圧般 7 に接触しないように支持配線管 10 の先端に取付けられた圧力変換器9によって検出 される。この検出信号は支持配線管 10 を介して 受圧般 7 部へ導びかれ、土 11 の中の柔軟性を有 したリード級 12 を通り、土 11 外の増幅器 13 を 通り、記録表示部 14 で読み取る。なお、受圧競 7、液体8、圧力変換器9をよび支持配線管10 で構成される土中応力検出部は、土 11 の性質に 相応して一定の体験圧縮率と一定 の比重をもつよ りにする。また、土中応力検出部の体積圧縮率を 調整するため、ゴム等の体積圧縮率調整材 15 を 取り付けても何ら差し支えない。また、増幅器 13

- 4 -

第1図は、従来の土中応力御定装置の概 型を示した図、第2図は、本発明の一実施例の構成図である。

14 ········ 配錄表示部、 15 ······ 体積圧縮率 調整材。

特許出願人 日本電信電話公社

代理人星野恒司

- 6 -

